

事業所名 グループホームカーサハモニカ
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成18年 3月 8日

評価機関名 ㈲東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 看護師、介護支援専門員
資格・経験 看護師(37年以上)、介護支援専門員
B:現職 介護支援専門員
資格・経験 介護支援専門員、介護福祉士、老人福祉施設(9年以上)

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

同じ敷地内に、特養・通所介護・訪問介護・訪問看護・ケアハウス・ケア付き有料老人ホームなど併設施設があり、高齢者のサービスが円滑に出来るように工夫され、協力体制が整っている。また、法人全体での勉強会や研修会・講習会が充実し、スキルアップに役立っている。外部から講師を招いたり、職員同士でも特浴を体験するなどの体験型学習を行い、ケアの向上に熱心に取り組んでいる。

管理者・職員共現状に満足せず、常に『もっと良いケア』を目指している。職員が入居者に対応する時に注意すべき点や支援をする上での心構えを年間ケア目標・月間ケア目標として決め、それに向けて職員全員で取り組んでいる。自分自身はもちろん、職員相互が注意し合える環境作りを実施している。

クッキングデーと調理の日以外は給食方式にしている事をプラスに転じ、職員に時間の余裕ができ、入居者とのコミュニケーションがしっかり取れている。廊下や居間等あちこちで職員と入居者が話をしたり趣味活動を楽しんでおり、落ち着いた生活できる要因となっている。

居室は広めでゆったりと生活ができ、全室にトイレを完備している事でプライバシーの保護にもなっている。また、居室料が安く設定されているのは、入居者・家族にとっても嬉しい。

ホームは高台にあり、眼下に住宅地が見渡せ、すぐ裏手には梅やぶどうの畑が眺められ、穏やかな四季の表情が楽しめる。近くに2号線バイパスが通っており、アクセスも良い。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

職員の配慮が行き届き、さらなるケアサービスの質の向上に向けての取り組みもされており、安心できるグループホームではあるが、入浴できる時間帯が短いことが気になった。今年4月から勤務体制が変更され、それに伴い入浴時間帯も見直すとの事なので、今後を期待したい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>『お年寄りに優しい施設』をモットーに、「受容の態度」「優しい言葉遣い」「明るい笑顔」を具体的目標に掲げ、「できない」ではなく、「どうしたらできるか」を常に考えて、プロ意識を持って支援するように心掛けている。受容については、認知症の方のありのままの言動を否定する事無く受け止めて、訴えの中から何を望んでいるのかを察しながら支援している。</p> <p>年間ケア目標を設定し、それに向けて月間ケア目標・曜日別の目標を職員で決めて実施に繋げている。身体的な面のみにとらわれる事無く、精神的な面に配慮する事を重視している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>入居者とのコミュニケーションを大切にする事で精神的な安定が図られている。1人離れて居る方にさりげなく話しかけたり、爪切りの援助をしながら話をしたりなど、会話とスキンシップは常に行われていた。</p> <p>入居者の個々の楽しみを大事にしている。はさみ将棋やジグソーパズル・かるた等を仲間同士や職員も交えて行い、考えたり笑ったりと楽しく過ごしている。ちぎり絵等、自分の得意な事をする事で自信に繋がりが落ち着かれたり、昔の作品を家族が季節ごとに持参し、それを廊下に展示して見てもらう事が楽しみの方もおられた。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>日常の中で個々に合った手伝いを自分の役割として、楽しみながら行っている。料理の盛り付けや配膳・下膳・掃除などは大体役割が決まっており、男性の入居者も食後の洗い物を手伝っておられた。趣味活動も、好きな事や得意な事をしてもらっている。</p> <p>呼び名・挨拶・居室入室時のドアノック等、社会人としての礼節は当然守っている。取り組みとしては、特に言葉遣いに重点を置き、職員同士で気づいた点は注意し合える環境を作っている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生も契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>勉強会・研修会・講習会が充実しており、法人全体でケアサービスの質の向上に取り組んでいる。各ユニットに於いても、個々に合わせた援助がなされているかの確認や健康チェック・居室内のチェック・換気チェックなどを時間を決めて行っている。</p> <p>年3回、入居者も参加して避難訓練を実施している。毎回、火元を具体的に決めて実施する事で災害防止に努めている。また、防火チェック表を用い、1日5回、時間を決めて点検している。GH緊急時マニュアルを作成し、様々な場面を想定して、それぞれの場面ごとに分かりやすく手順が示されている。</p>		